

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2024/5/20

~

2024/5/26

発 令 中 の 警 報 ／ 注 意 報	県 全 体	<警報>	なし	<注意報>	なし
	各 保 健 所	警報	中部保健所：なし 八重山保健所：咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病	注意報	中部保健所：なし

- ・現在、中部保健所管内で警報、注意報はでていません。
- ・**新型コロナウイルス感染症**や**RSウイルス感染症**、**手足口病**が**増加傾向**となっています。
手洗い・マスク着用など感染対策へのご協力よろしくお願いします。

『RSウイルス感染症が増加しています!』

◎RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症は乳幼児に多くみられる呼吸器の感染症です。例年、夏から増加傾向となり秋にピークがみられていました。一方、2021年以降は春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークがみられています。

生後6か月未満の乳児、早産・低出生体重児、先天性心疾患や慢性肺疾患、神経・筋疾患、免疫不全症などを有する乳幼児の場合、重症化のリスクが高まります。

◎症状について

主な症状は発熱、鼻水、咳などです。重症化すると細気管支炎、肺炎などを起こすことがあります。

***咳の悪化や喘鳴（呼吸をするときにヒューヒュー、ゼーゼーと音がすること）、呼吸が苦しそうな様子がみられた場合には早めの受診をお願いします。**

◎感染対策について

感染経路は飛沫感染と接触感染です。感染対策として呼吸器症状がある方と乳幼児の接触を避けること、可能な場合はマスクを着用するなどの咳エチケットが有効です。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめにアルコールなどで消毒すること、流水と石鹸による手洗いが重要です。

詳しくは[厚生労働省RSウイルス感染症Q&A](#)をご覧ください。



■ 感染症の発生動向 1類～5類（全数把握）

		県全体	うち中部
1類	なし		
2類	結核	6	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0
4類	なし		
5類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1
	急性弛緩性麻痺	1	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0
	梅毒	3	1

■ 感染症の定点当たり報告数

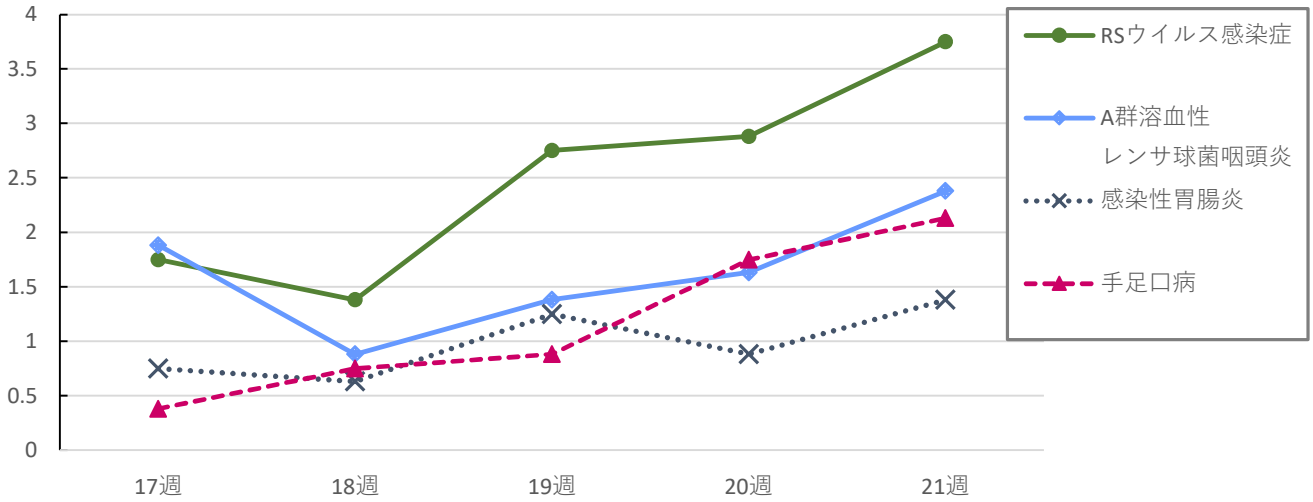
※直近5週間で報告された感染症のみ

	17週		18週		19週		20週		21週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	2.2	2.79	3.13	3.13	1.2	2.26	2.07	2.66	0.73	1.6
RSウイルス感染症	1.13	0.97	1.75	1.3	1.38	1.4	2.75	1.63	2.88	2.27
咽頭結膜熱	0.13	1	0.25	0.97	0.13	0.33	0	0.5	0	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	3.47	1.88	3.33	0.88	1.9	1.38	2.77	1.63	2.47
感染性胃腸炎	1.25	1.57	0.75	1.6	0.63	1.27	1.25	1.73	0.88	1.7
水痘	0	0.2	0.25	0.3	0.25	0.33	0.38	0.37	0.25	0.23
手足口病	0.13	0.67	0.38	1	0.75	1.23	0.88	1.53	1.75	1.6
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.03
突発性発疹	0.25	0.13	0.38	0.27	0	0.2	0.25	0.2	0	0.27
ヘルパンギーナ	0	0.1	0	0.3	0	0.2	0.13	0.57	0.5	1.17
流行性耳下腺炎	0	0.2	0	0.13	0	0.03	0.13	0.07	0	0
急性出血性結膜炎	0	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	3.13	0	1.88	0	0.75	0	1.13	0	1.5
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0	1.5	0.43	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14	0	0	1	1
マイコプラズマ肺炎	0	1.29	0	2.71	0.5	2.43	1	1.71	2	1
COVID-19	4.67	5.81	7.07	8.34	5.67	9.77	10.07	12.04	13.07	13.43

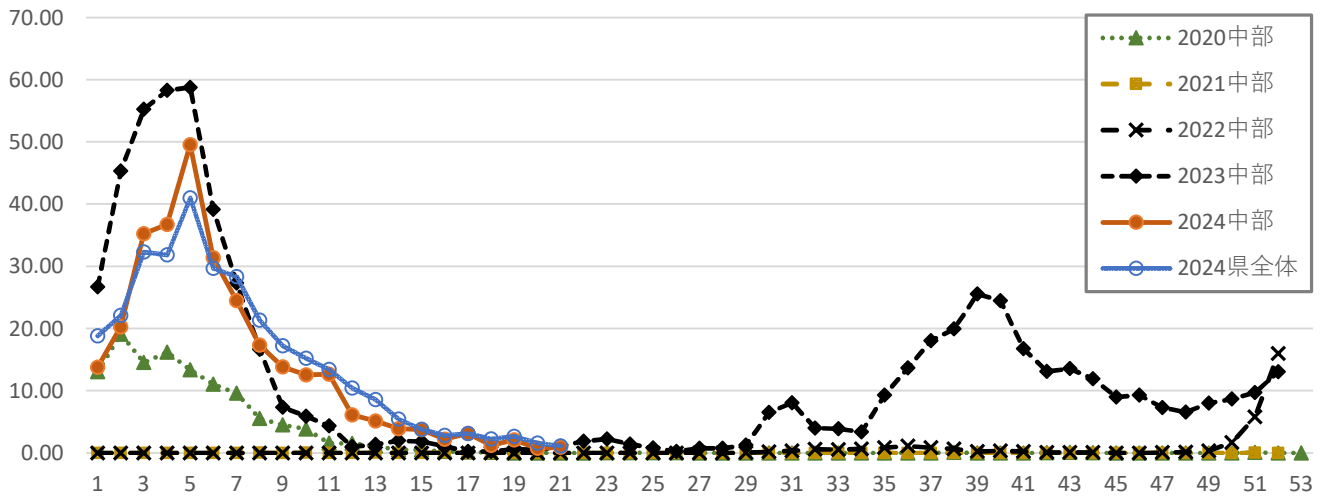
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

